



北陸の果樹をめぐる情勢



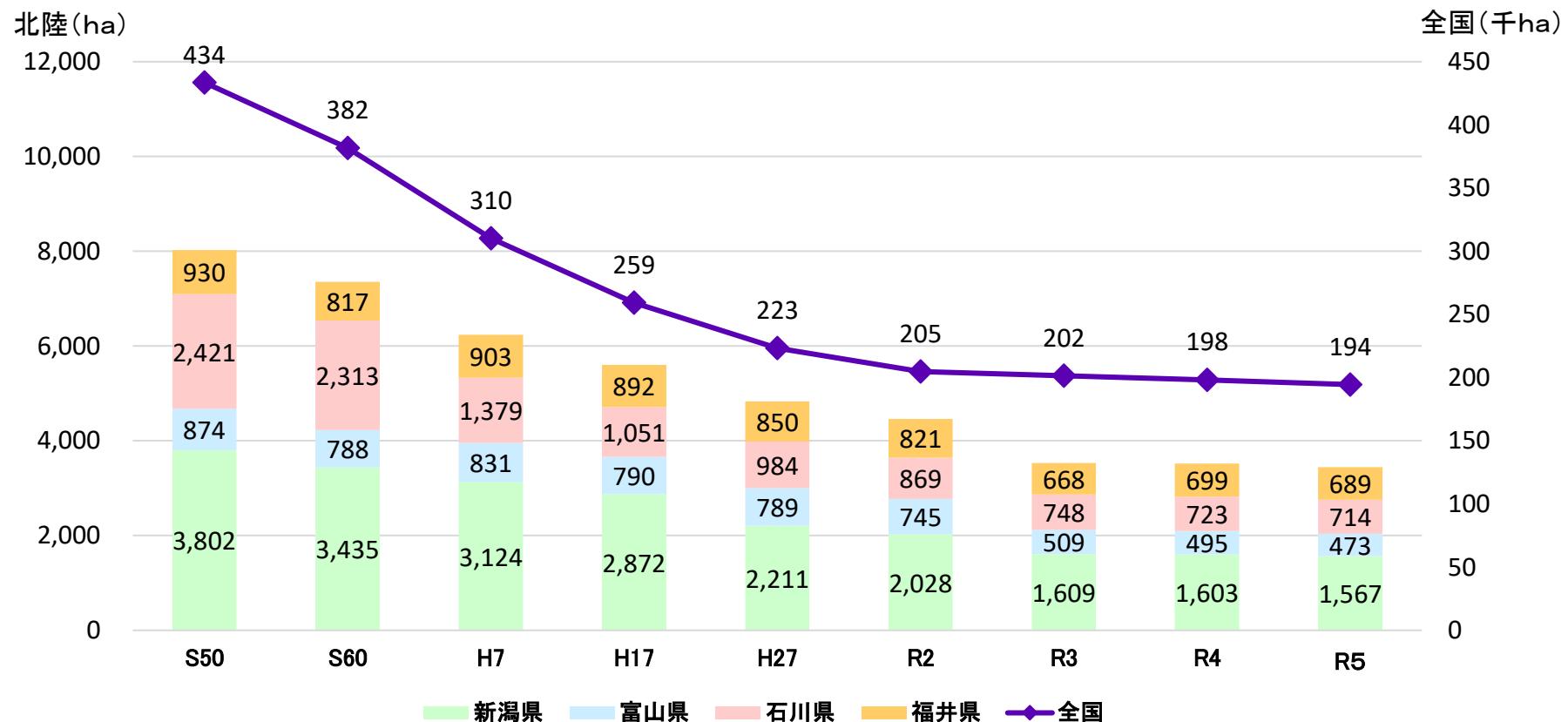
令和7年12月
北陸農政局園芸特産課



1 栽培面積

- 北陸における令和5年の果樹栽培面積は3,443haで、全国の果樹栽培面積(194,494ha)の1.8%を占めている。

○果樹栽培面積の推移



資料:農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」

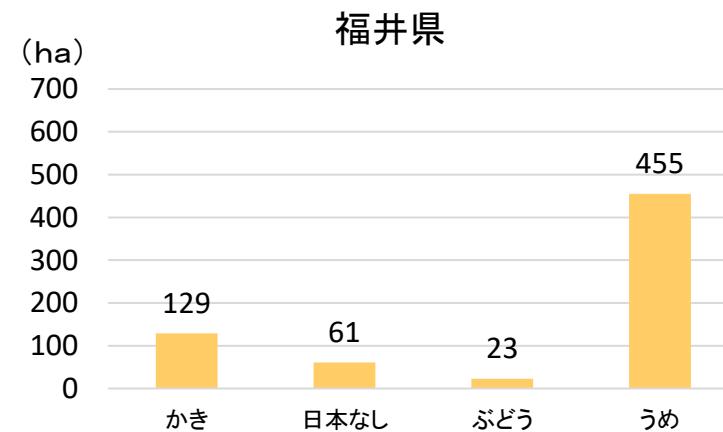
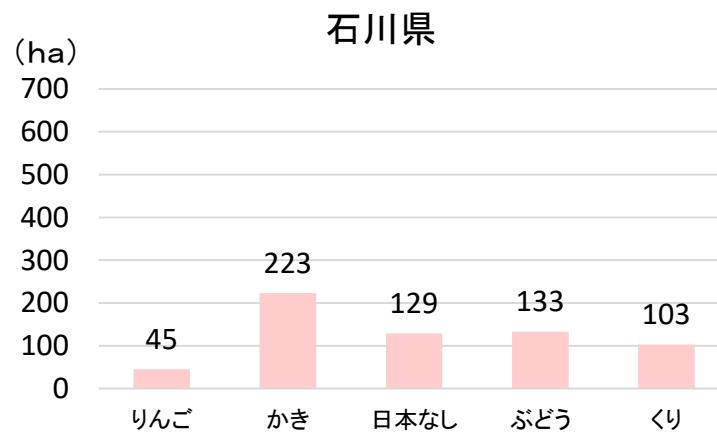
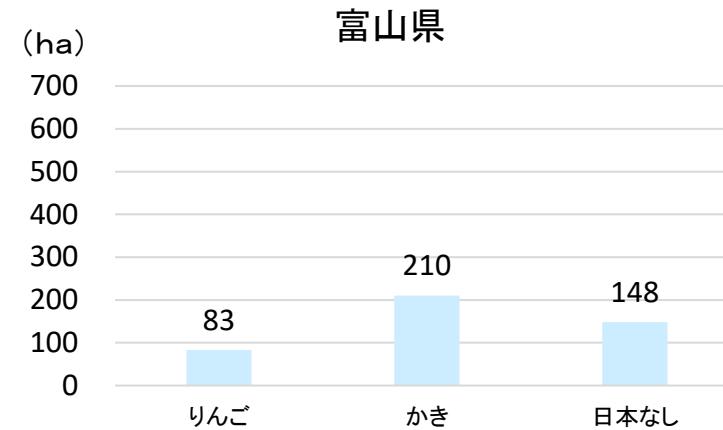
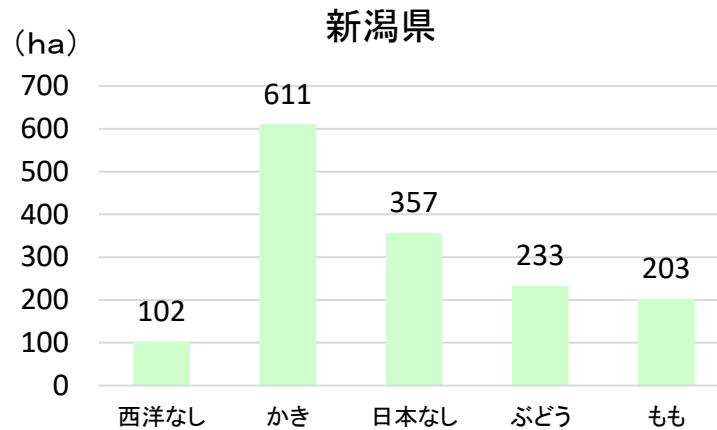
注1 栽培面積は主要品目15種(みかん、その他かんきつ類、りんご、日本なし、西洋なし、かき、びわ、もも、すもも、おうとう、うめ、ぶどう、くり、パインアップル、キウイフルーツ)のみ。

注2 H29以降の調査範囲は主産県に変更し、全国調査は6年ごとに実施。

1 栽培面積

- 北陸における令和6年産の品目別の栽培面積では、かきは1,173ha(全国に占める割合12.3%)、日本なしは695ha(同4.0%)となっている。

○主な品目の果樹栽培面積(令和6年産)

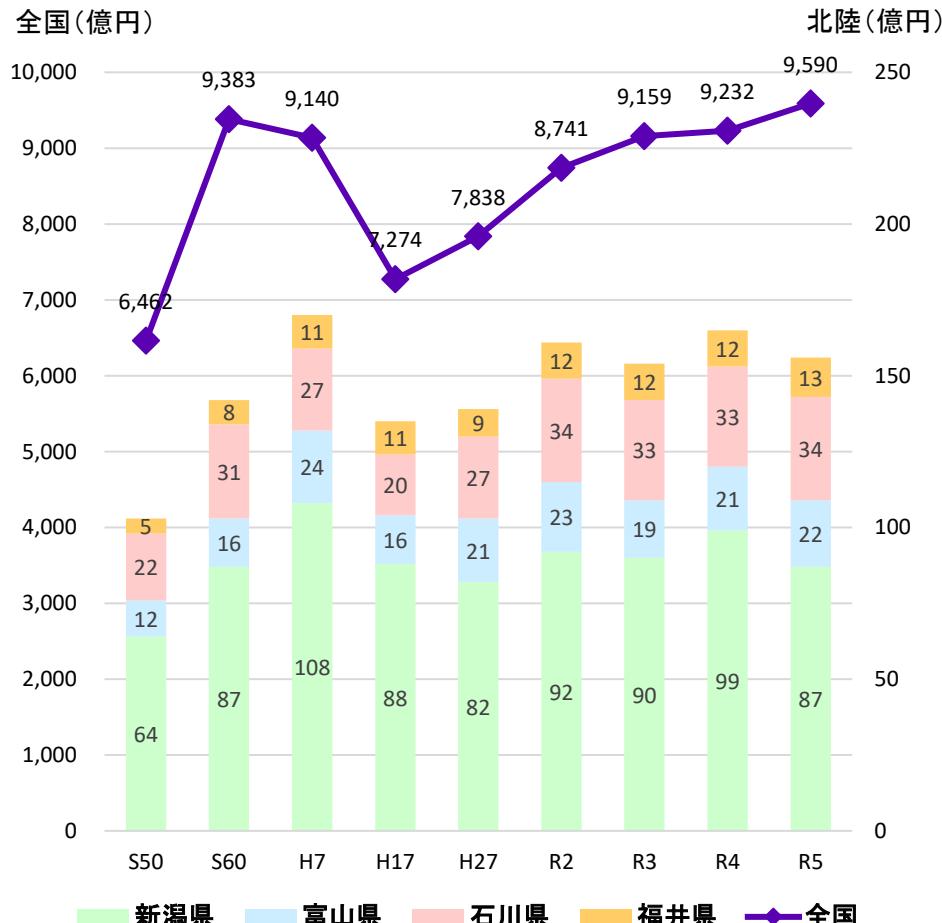


資料:農林水産省統計部「令和6年産果樹生産出荷統計」

2 産出額

- 北陸における令和5年果実産出額は156億円で、全国の果実産出額(9,590億円)の1.6%である。
- 品目別産出額をみると、令和5年はぶどう41億円、日本なし41億円、かき31億円となっている。
- 特に、西洋なしは新潟県で全国2位、かきは新潟で全国5位、うめは福井県で全国5位、と全国上位の品目もある。

○果実産出額の推移



○品目別産出額(令和5年)

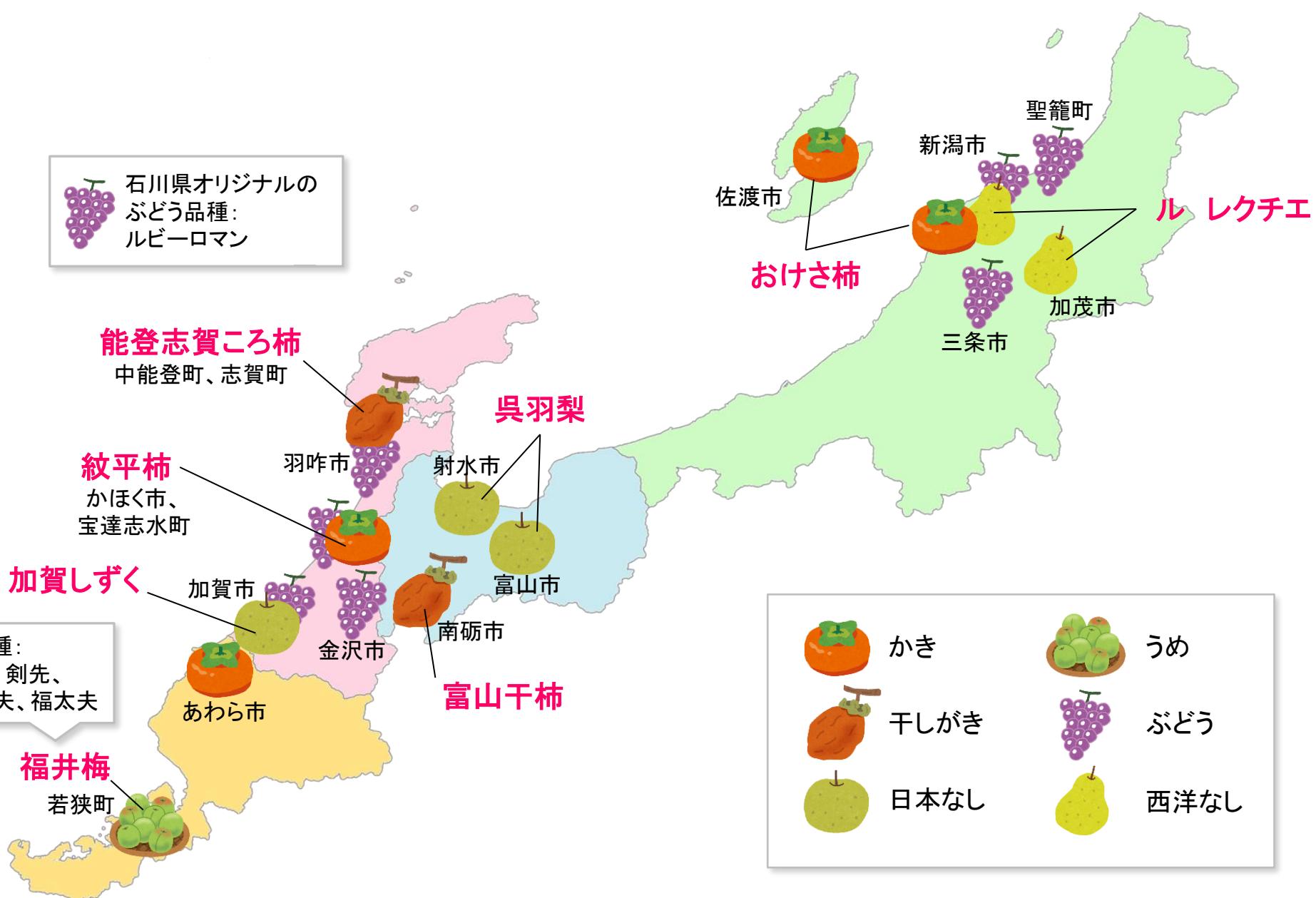
	北陸	新潟県	富山県	石川県	福井県	全国
ぶどう	41 (2.0)	21 (1.0)	3 (0.1)	16 (0.8)	1 (0.0)	2068
日本なし	41 (5.7)	17 (2.4)	11 (1.5)	10 (1.4)	3 (0.4)	716
かき	31 (6.7)	⑤ 23 (5.0)	4 (0.9)	2 (0.4)	2 (0.4)	464
西洋なし	10 (11.5)	② 10 (11.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	87
うめ	8 (3.4)	1 (0.4)	0 (0.0)	1 (0.4)	⑤ 6 (2.6)	234

資料:農林水産省統計部「生産農業所得統計」

資料:農林水産省統計部「生産農業所得統計」

注1()内は全国シェア、○内は全国順位

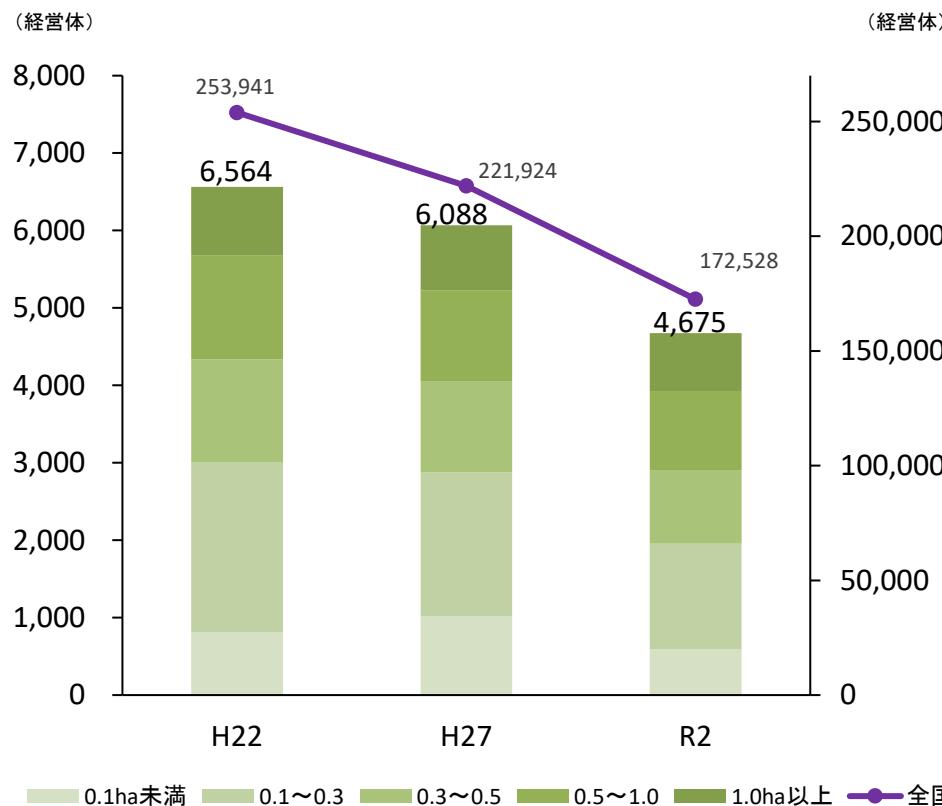
3 北陸の主要な果樹品目



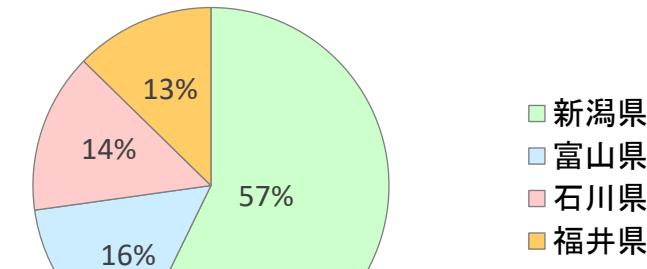
4 農家数

- 北陸における販売目的で栽培した果樹類の経営体数は、新潟県が半数以上を占め、全国同様、減少傾向である。
- 経営規模別にみると、令和2年では0.1～0.3haが1,362経営体と最も多く、1.0ha以上は750経営体となっている。
- 年齢別では、70歳以上の割合が53%と半数以上を占めている。

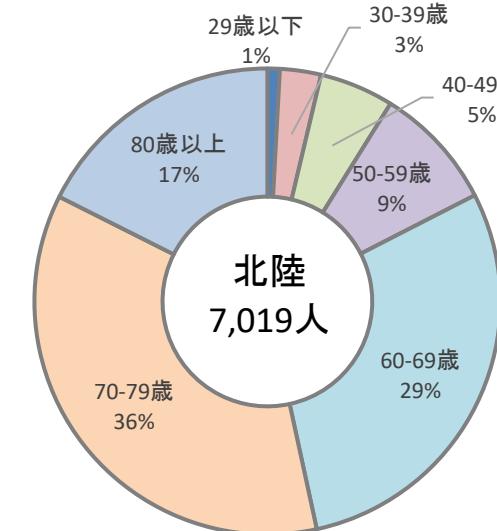
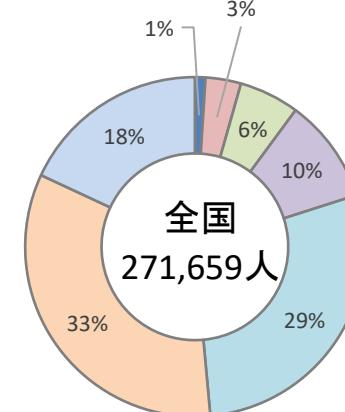
○北陸における果樹類の経営体数の推移



○果樹類の経営体数の県別割合(令和2年)



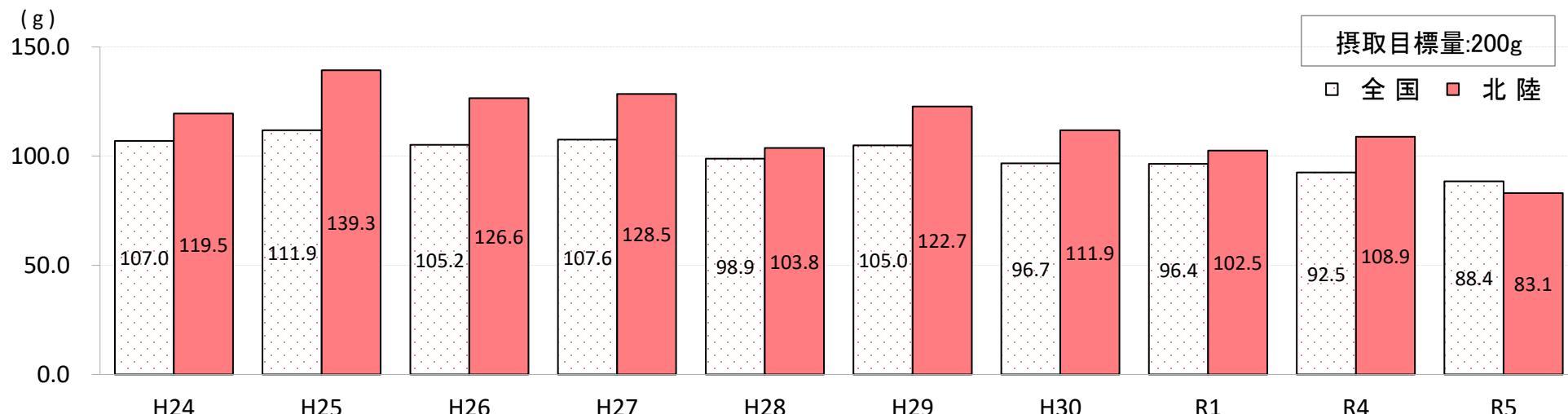
○年齢階層別の基幹的農業従事者数(果樹部門)(令和2年)



5 消費

- 北陸における果実類の摂取量は、令和5年で83.1gと全国平均(88.4g)を下回り、摂取目標量の200gの約5割となっている。

○1人・1日当たり果実類摂取量の推移



資料:厚生労働省「国民健康・栄養調査」

*令和2~3年度は新型コロナウィルス感染症の影響により調査中止

【参考】毎日くだもの200グラム運動



「毎日くだもの200グラム運動」は、日本人の毎日の食生活に果物を定着させるために、果物の小売業者、生産団体、その他の関係機関等が、各自独自の果物の販売活動や果物に関する知識の普及啓発活動に際し、全国が一体となり果物の消費拡大を図るための運動です。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

果物ではじめる健康生活毎日くだもの200グラム！(<http://www.kudamono200.or.jp/>)